

輝く津奈木の水泳

B&G全国スポーツ大会

「津奈木のB&Gの橋口信二君と大園朋子さんは大会新記録を作ってくれて、この大会を一段と実のあるものとしてくれて、有難う」と名指して褒められたときはジーンとききました。一躍津奈木は日本の津奈木になったのだ、総合二位になったことも望外の喜びであった上に、特別に津奈木に力を入

ジーンときた

- 一位 百自由 新 橋口信二
 一位 五十バタ 橋口信二
 三位 五十平 塚本 徹
 一位 五十背 新 大園朋子
 二位 百自由 大園裕子
 二位 五十バタ 大園裕子
 二位 メドレーリレー 四人
 二位 リレー 四人
 二位 総合 四人
 備考「新」は大会新記録

十八のメダル



大会風景

津奈木

発行所 津奈木公民館
 津奈木郡津奈木町
 電話(代表)3111
 印刷所 旭印刷
 電話(水保)34101番



木原美知子さんからメダルを授与される(左)大園さん(右)橋口くん

中学校にあまたあるクラブの中で唯一の輝く星だ。これは多年たゆまない努力のおかげであらう。神様は努力するものだけを助けて下さる。(岡松壮記)

津中優勝

さすが水泳クラブだけは今年も中体連で優勝した。しかも四年連続である。津奈木



練習風景

みんながそろって

九州大会で選ばれた十二人のうち、四人が津奈木であったという誇りと、それに応えて津奈木の選手が四人とも猛烈にハッスルし立派なメダルを十八個も獲得してくれたことで、引率者としてもよい土産ができました。(教育長 谷口先生談)

涙

ある時の大会に、よもやと思う女の児が三等になってくれた時、自然と涙が流れました。「わが子だったのでしょうか」というと、「いえ、下り藤さまみさんでした。」この答を聞いて、これこそ尊い涙だと思った。選手はみな吾が子

よき後援者

津奈木の水泳をかくまで輝かしいものにした立役者は何と云っても塚本先生だが、よき後援がなければ先生の指導も100%発揮することができない。特に塚本先生の陰にいつもいて幹事役をつとめる人がいる。それは大園英樹さんだ。うまい具合に後が切れないように子を作っているから、二人の間には切れ間がない。これが塚本水泳の輝くもとだといっても過言ではない。

最近、家庭内で親子の対話が欠けているとか、親子の断絶から争いが起き、子が親を殺しかねない社会のようです。以前と現代では、弁当や洗濯などにしても愛情面で親子のパイプが太く結ばれていたのが、いつの間にか細くなって来ているようです。子どもへの愛情を示す機会が少なくなりました。

佐賀市の八幡宮の宮司さんの奥さんが、氏子の婦人会の人たちと計画した「へそ祭り」があることを聞いた。親子の愛情を再認識するため、五月の母の日に人間の心の原点に戻り、へそに感謝しようというねらいです。親子のパイプが細いのを、さらに大きくするために、成人の日とか、母の日などに、へその緒を取り出して、子どもに見せる計画です。こうした祭りは、子どもへの励ましとなり、親子のパイプはへその緒で結ばれていたという厳粛な事実を忘れていないでしょうか。細いパイプを太く、そして、血の通うための努力、小学校時代は子どもが母親と語り、泣き、笑い、面倒を見てもらうゆとりがほしいものです。(T)

B & G 『少年の船』に参加して

津中三年 柳迫 千登世

7月30日、グアム到着、飛行機をおりた。バスに乗り島内見学だった。恋人岬など、十分間ずつ停車する間に写真を撮った。特別な説明は、車内でガイドさんが話してくれた。ガイドさんは、ずいぶん日本語が上手だなあと思っていたら、なんとその人は、日本人でした。なんとなくカッカリしました。港に停泊している新築の丸丸につくとさつき号の班行動。同室になるみんなと、自己紹介や、荷物の整理などをして、ウェルカムパーティーが始まるのを待った。船内放送があり、いよいよパーティー

洋性スポーツを行った。8月1日は、交歓会があり、グアムの沢山の仲間と話をした。片言の私の英語でも通じた。でももっと話せたらと後悔した。しかし、私には、ペンフレンドができたので一生懸命、手紙を書くため英語を勉強し、いつかこのフレンドのホームへ遊びに行きたいと思っている。



感動は、一生忘れない。この少年の船での9泊10日は、私の一生思い出にしたい。

全国大会へ出場

県総合青年祭で優勝



砲丸投 岩崎泰祐君 1500M 新立芳郎君

第25回、熊本県総合青年祭が、去る、九月三、四日の二日間におたり、本渡市の十八会場において

各種のスポーツ競技や意見発表、コーラスなどが行われました。津奈木町からも芦北郡の代表選手として、三十三名が出場し、熱戦の末、体育の部が三位、文化も合わせて総合六位の成績をおさめました。中でも、新立芳郎君が陸上競技の千五百メートルで四分八秒三の大会新記録で優勝し、また砲丸投げで岩崎泰祐君が十二メートル八十二で優勝しました。二人は、来る十一月月上旬に国立競技場で開催される、全国青

会に熊本県代表として出場することになりました。町民皆様のご声援をよろしくお願いします。尚、その他の成績は次のとおりです。(団体種目)

- バドミントン 優勝
- ソフトボール女子 二位

津小女子ハンドボール 大活躍!

新聞を見て初めて津奈木小学校のハンドボールが勝ち進んでいることを知った。ここまで力をつけるまで先生と児童がどれだけの汗を流したかを偲んだ。準備優勝に終わったことはまことに残念だったが、優勝はすくそこだ

今後の奮闘を祈って止まない。津奈木町民に明るい気持ちを与えてくれたハンドボールの先生と選手のみなさんに敬意を表したい。同大会は、去る8月17、18日に県立体育館において開催されました熊日学童五輪ハンドボ



の記事です。

優勝した高校生チームは八月十六日、東京で開催された「B&G全国スポーツ大会」に九州代表としての記事です。

がんばって来ました

B & Gスポーツ大会

去る七月三十一日、鹿兒島県串木野市において、第六回B&Gスポーツ九州プロック大会が開催され、本町は熊本県代表チームとして選抜の小中学生と役員合わせて四十七名が、水上の部(カヌー、カッター)と水泳の部に参加して、輝かしい成績をおさめました。水上では、小学生がカッターで二位、高校生がカヌーで三位、個人では、永松京子さんがカヌー(中女)三位でした。水泳の部では、小学生の部三位、中学生の部二位、高校生の部が大活躍、見事に優勝を果しました。個人でも多くのメダルを獲得しました。



カヌー・ヨットに挑戦

カヌー・ヨットに挑戦

去る、7月28日(水)艇庫で、海の旬間」にちなんで海洋スポーツ普及大会を開催した。町内小・中学生及び海洋クラブ員94名が参加して海洋スポーツを楽しんだ。艇庫で午前9時から活動を開始した。まず4班に編成した後、各舟艇器材の取り扱い方、ヨットの帆装方法を育成士から習って、海へのり出した。初めてカヌーのパドルリングにおっかなびっくり、又ヨットの航走に四苦八苦しながらも、終日、夏の日差しを体いっぱい受け海洋スポーツに挑戦していた。

